

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-22
☎042-724-2171
2期連続トップ当選

商工会議所の役割と挨拶

商工会議所の定期総会に出席しました。深澤勝会頭の挨拶後、執行部より議案提案があり、その事務局の説明の後、採決になりました。議会とは異なるので、質疑、討論の過程が簡略と言うか、あまりその部分は目立ちませんでした。その分、説明は具体的でわかりやすいものになっていました。

来賓では、石阪市長と議長の吉田つとむが挨拶を行いました。市長はその挨拶で、総括的なことと表彰者の祝いを中心に話題とされたことで、私は、主催者の説明と配布資料で気づいたことで、会員数が増加したことの祝福と、町田市の補助金が毎年低減していることを書類で発見させていただいた事、それをこの場で市長に告げると、市長は今は「横ばいです」と返答だったと紹介しました。厳しい話題の割には、笑いが起きました。その後の話で、商工会議所の皆さんには、大勢の雇用者を擁してもらっている、そのことがもっとも大切なことだと思っています。と言う趣旨のことを述べました。



「町田私の好きなお店大賞」受賞表彰

最後は、「町田私の好きなお店大賞」受賞者の皆さんらとの記念写真撮影がありました。

動議：予算執行に関する意見

前号の記事で、石阪市長が一大方針で取り組む、野津田陸上競技場のサッカーJ1化予算に対して、建設常任委員会で付帯意見が付いたことを書きました。

その件に関して、市議会第一例会の最終日、予算の採決(多数で可決)後、改めて、動議が出され、「その予算の執行を猶予されたい」という付帯意見を盛り込んだ議員提出議案が上程されました。通常感覚では、市長与党と目される会派もこの決議を支持する側に回り、全議員の3分の2以上の議員がこの付帯意見に賛成しました。つまり、市議会は、公明党、保守連合や自民党の一部も含めて、「その予算の執行を猶予されたい」という立場になっています。



写真は多摩都市モノレール促進大会での挨拶

よって、市長は、この予算執行前に、「現行の観客席(10,000人収容)に5,000名分を増設し、追加して屋根をつけることで、新たに50~60億円を擁する大型工事となることの合理性、経済効果を説明する必要が生じることになりました。もちろん、行政にとって、有利な数字を推測して並べることは容易ですが、5年後、10年後までの責任を持つことが行政トップには求められるでしょう。

無所属で活動・市議会は保守連合 **市議会議長として、休まず執務中**

HP <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



QRコードで
メール送信が
できます

町田市議会議員(議長)・良識ある保守主義を目指す

吉田つとむ



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード
でブログ閲覧

市議会議長として、連日活動中

議長裁決で決した意見書

議員提出議案 第3号「森友学園」問題の徹底究明を求める意見書(共産党提案)の表決では、提案者とは少し違った観点で保守連合が賛成討論し、採決に臨みました。この日本会議では1名の欠席者があり、この議案では初めて可否同数(17×17)と言う結果となりました。議場にはどよめきが始まる中、議長の吉田つとむは、議員提出議案 第3号(=「森友学園」問題の徹底究明を求める意見書)に賛成を表明し、議長裁決を行いました。よって、議員提出議案 第3号「森友学園」問題の徹底究明を求める意見書は可決となりました。

議長裁決で可決としたのは、この森友学園問題を終わりとするわけにはいかないという判断からでした。もちろん、私が議長になって初めのことでした。そうした場合に遭遇すると大いに緊張感があります。

私の記憶では、本会議の議案採決が可否同数となって議長裁決となった例は、2年ほど前に1度あったと思います。請願の採決で可否同数となり、議長裁決によって、その請願が採択(請願の場合、採決と言わず、採択と言う)となりました。それ以来のことで、議会としてはハプニングものでした。



関連：議長就任の前日、お茶をたてる練習

高齢者の自己負担同意

「町田市ゲートボール協会」の定期総会に出席し、挨拶しました。市長代理や行政の役職者は、その時点で直接の担当者を残して退席しましたが、私は市議会議長として、総会の議事にも合わせて出席傍聴しました。そのお陰で、当該団体にとってどのようなことが課題になっているのかと言う大変参考になる話題が取り上げられており実状を知ることができました。



登録料値上げの規約改正を執行部が提案

その内容と言うのは、「町田市ゲートボール協会」が使っている施設(芹ヶ谷会館)の水光熱費をこれまでは行政が負担していたが、翌年度から団体側が負担することになるというものでした。受益者負担の考え方によっては当然のことと思えますが、実額でこの団体だけで、56,000円も新規に負担することになります。その金額の捻出のために、規約改正を行って、全部の参加団体の年間登録料を3,500円から4,000円にアップするというものでした。総会の会議では承認されたものの、市民の健康増進活動の予算支出には削減を断行し、他方で地元のプロサッカーチームには、様々の行政負担を増していることで、市政に厳しい目が今後あたるようになることは避けられないと考えています。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)